

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2022 年 1 月 27 日

事業所名:アンの家神戸

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	中高生が多いが、レイアウトを工夫し各自のパーソナルスペースを確保できるようにしている。	「できている」80%	今後も一人一人に快適な居場所であるよう、それぞれの活動に適切なスペースを確保する。
	2 職員の適切な配置	基準を遵守している。	「できている」80%	今後も法令を遵守する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	室内はバリアフリーであり、当日の予定をホワイトボードに表示するなど、必要な情報がすぐ分かるようにしている。	「できている」80%	今後も利用者一人一人に応じた環境整備に努める。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃・備品の消毒に加え、利用者や職員の不織布マスク着用の徹底・手指の消毒を徹底している。	「できている」80%	今後も安心・安全な環境を提供する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎朝全職員によるミーティングを行い、前回の振り返りと今日の予定の確認をしている。	/	今後もPDCAサイクルに基づき職員間で情報を共有し、共通意識を持って支援を行う。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない。		状況に応じて検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	OJTを通し、職員の資質向上に努めている。		今後は社外研修にも積極的に参加する。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6か月ごとにアセスメントを行い、利用者や保護者からのニーズに基づいて個別支援計画を作成している。	「できている」100%	今後も利用者の希望を最優先にし、必要に応じたアセスメントを心掛ける。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	一人一人の状況に応じ、個別活動と集団活動がバランスよく行えるようにしている。		今後も6か月という期間にこだわらず、必要に応じて支援計画を見直し、一人一人のニーズに合った支援を行う。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画は分かりやすい内容を心掛けている。		今後も利用者に分かりやすい具体的な支援計画を作成する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	全職員で支援計画を共有している	「できている」90%	引き続き全職員で支援計画を共有し、共通認識を持って支援を実施する。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員間で教材や活動内容について話し合っ て決めている。		今後も職員同士で意見を出し合い、活動内 容を選定する。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やか な支援	平日と休日で活動内容を変えるなど、利用 時間に応じたプログラムを実施している。		今後も利用者の意見も聞きながら、活動内 容を選定する。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の 実施	利用者の希望を聞き、本人がその時に望ん でいることをプログラムに取り入れている。		今後も日々の教材研究や利用者の意見を 取り入れながら、プログラムが固定しないよ う心掛ける。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援 内容や役割分担についての確認の徹底	毎朝全職員によるミーティングを行い、その 日の利用者一人一人について前回の振り返り と今日の活動内容について確認している。		今後も職員間で情報共有をし、共通認識を 持って支援を行う。
	9	支援終了後における職員間でその日行われ た支援の振り返りと気付いた点などの情報 の共有化	その日に利用した全利用者の活動内容や活 動時の様子を記録し、全職員で共有してい る。		今後も職員間で情報共有をし、共通認識を 持って支援を行う。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底 や、支援の検証・改善の継続実施	利用者ごとに 活動内容と活動時の様子を 記録し、その日出勤していなかった職員も後 日必ず目を通すようにしている。		今後も正確・適切な記録を行い、全ての職員 が対応できるよう情報を共有する。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達 支援計画又は放課後等デイサービス計画の 見直し	定期的なモニタリングを行い、利用者の状況 に応じて支援計画を見直し・修正している。		今後も定期的なモニタリングを行い、利用者 のニーズに応える。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	支援会議に積極的に参加し、関係機関と情報を共有している。	今後も学校や相談支援事業所と情報を共有し、連携して支援を行う。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし	今後必要に応じて連携する。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし	今後必要に応じて連携する。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	該当者なし(利用者は小学校高学年以上のため)	今後必要に応じて連携する。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	利用者からの要望があればその都度対応する。	該当する利用者がある場合は、その都度対応する。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	神戸市主催の研修や民間の勉強会に積極的に参加している。	今後も積極的に研修等に参加し、関係機関とも連携する。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナ禍でもあり、利用者以外との交流は行っていない。	「分からない」50%	同じ建物に通信制高校があるため、今後状況に応じて交流する機会を検討する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ禍でもあり、実施できていない。	「分からない」50%	状況に応じて検討する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に丁寧に説明することを心掛けている。	「できている」100%	今後も契約時の説明だけでなく、保護者からの要望があればその都度丁寧な対応を心掛ける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者に支援の内容について説明している。	「できている」100%	今後も丁寧に分かりやすく説明することを心掛ける。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングは実施していないが、相談があった時はその都度対応している。	「できている」50%、「分からない」50%	今後も保護者から相談があった時は、その都度丁寧な対応を心掛ける。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回保護者にメールでその日の活動内容や取り組み時の様子を報告し、情報を共有している。	「できている」100%	今後も保護者と情報の共有を継続して行う。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者から相談があった時は、その都度対応している。	「できている」80%	今後も保護者からの相談に対し、丁寧な対応と適切な助言を心掛ける。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会は実施していない。	「分からない」50%	保護者から要望があれば検討する。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情の相談窓口について説明している。	「できている」70%	苦情があった場合は迅速で適切な対応を心掛ける。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用者や保護者に分かりやすく情報を伝えるよう心掛けている。	「できている」100%	今後も一人一人に分かりやすい情報伝達を心掛ける。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会報は発行していないが、毎回利用日に保護者に報告メールを送っている。また定期的にブログで活動の様子を発信している。	「できている」50%、「分からない」50%	今後もブログをまめに更新し、定期的は情報発信に努める。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に書面を提示し個人情報の取り扱いについて説明し、署名捺印してもらっている。	「できている」90%	今後も全職員による守秘義務を徹底し、適切な個人情報の取り扱いに努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時に緊急時の対応について説明している。	「できている」60%、「分からない」30%	今後も契約時に保護者に必ず説明し、周知徹底に努める。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	コロナ禍で今年度は避難訓練ができなかったが、今後は定期的に行う。	「分からない」50%	今後も定期的に避難訓練を行う。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	日頃から職員間で話し合い、虐待は絶対にしないという共通認識を持ち支援を行っている。		今後も虐待防止のため定期的にOJTを行う。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	いかなる場合においても身体拘束は行わない。		今後も身体拘束は行わない。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時にアレルギーについて確認しているが、現段階で該当者はいない。		今後該当者がいれば保護者の指示に従う。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットに該当する事例が発生した場合は、速やかに報告書を作成し、職員間で共有し再発防止に努める。		今後も職員間での声かけ・ダブルチェックを習慣づけ、事故の発生防止に努めるが、万が一事故が起こった場合は、適切に処理する。